




東京都の経済情勢報告

令和8年4月22日
財務省関東財務局
東京財務事務所

※掲載した経済指標等は、令和8年4月8日までに公表されたもので速報値を含む。

1. 総論

【総括判断】「都内経済は、回復しつつある」










項目	前回（8年1月判断）	今回（8年4月判断）	前回比較
総括判断	一部に弱い動きがみられるものの、回復しつつある	回復しつつある	

（注）8年4月判断は、前回8年1月判断以降、足下の状況までを含めた期間で判断している。

（判断の要点）

個人消費は、回復しつつある。産業活動は、回復しつつある。雇用情勢は、改善している。

【各項目の判断】

項目	前回（8年1月判断）	今回（8年4月判断）	前回比較
個人消費	回復しつつある	回復しつつある	
産業活動	緩やかに回復しつつある	回復しつつある	
製造業	回復しつつある	回復しつつある	
非製造業	緩やかに回復しつつある	回復しつつある	
雇用情勢	改善している	改善している	
設備投資	7年度は増加見込みになっている	7年度は増加見込みになっている	
企業収益	7年度は減益見込みになっている	7年度は増益見込みになっている	
企業の景況感	現状判断は、「上昇」超幅が拡大	現状判断は、「上昇」超幅が縮小	
住宅建設	前年を上回っている	前年を下回っている	

【先行き】

先行きについては、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果が回復を支えることが期待されるものの、中東情勢の影響を注視する必要がある。また、金融資本市場の変動の影響や米国の通商政策をめぐる動向などに注意する必要がある。

2. 各論

■ 個人消費 「回復しつつある」

百貨店販売額、スーパー販売額及びコンビニエンスストア販売額等は前年を上回っている。宿泊や飲食サービス等については、回復しつつある。このように、個人消費は、回復しつつある。

(主なヒアリング結果)

- ラグジュアリーブランドが堅調に推移しているほか、バレンタイン商戦も好調で、売上げは前年同期を上回っている。(百貨店)
- 物価高に伴う節約志向から客数は減少している。一方、価格転嫁の進展により客単価は上昇しているほか、カウンターフーズが堅調であることから、売上げは前年同期を上回っている。(コンビニエンスストア)
- 売上げは前年同期を上回っており、業況は良い。東京都が実施する購入支援制度によりエアコンが好調であるほか、メモリの高騰を背景にパソコン価格が上昇しており、売上げの増加に寄与している。(家電量販店)
- 気温上昇を背景に花粉症薬が好調であるほか、新規出店や一品単価の上昇により、売上げは前年同期を上回っている。一方、消費者の節約志向は続いており、買上げ点数は伸び悩んでいる。(ドラッグストア)
- 旺盛な観光需要を背景に稼働率は高水準で推移している。このほか、価格転嫁を進めていることから、宿泊部門、レストラン部門とも売上げは前年同期を上回っている。なお、中東情勢の緊迫化に伴い、中東からの宿泊客は減少している。(宿泊)
- 売上げは前年同期を上回っており、堅調に推移している。特に、人気イベントの開催により、推し活需要が喚起された会場の最寄り駅では、乗降客数の増加が顕著となっている。(運輸)

■ 産業活動 「回復しつつある」

製造業は、電気機械等で減少している一方、輸送機械等は増加しており、回復しつつある。非製造業は、卸売業等で増加しており、回復しつつある。このように、産業活動は、回復しつつある。

(主なヒアリング結果)

- 航空機市場の需要回復に伴い、航空機部品を増産している。なお、当社製品は中東にも出荷しているところ、中東情勢が需要に与える影響について、確認を進めている。(輸送機械)
- 生成AIの需要は堅調に推移している。このような中、当社の検査装置はリードタイムが長いことから、生産状況は月ごとに変動がみられる。(電気機械)
- 節約志向を背景に加工食品の販売数量は減少している。一方、価格転嫁の進展により売上げは増加している。(卸売)
- 企業のDX投資意欲は旺盛で、業況は良い。セキュリティ意識の高まりに伴い関連案件も好調で、売上げは前年同期を上回っている。(情報通信)
- 完成車メーカーの販売低迷を背景に自動車関連の荷動きは軟調であるが、半導体関連の旺盛な需要が寄与し、売上げは前年同期を上回っている。なお、中東情勢の緊迫化により、船便から航空便への需要のシフトがみられる。(運輸)

■ 雇用情勢 「改善している」

有効求人倍率は横ばいであるものの、人手不足を背景に企業の採用意欲が高い状況にあり、雇用情勢は改善している。

(主なヒアリング結果)

- バス運転手は勤務形態が不規則であることから、採用環境は厳しい状況にある。このため、当社では人員不足が生じ、やむなく運行本数を減少させている。(運輸)
- 人手不足を背景にリードタイムが長期化し、残業時間も増加している。このため、一部の生産については外部委託を行っている。(製造)
- 技能労務者は慢性的に担い手不足となっていることから、企業間における人材獲得競争が激化している。(建設)

■ 設備投資 「7年度は増加見込みになっている」 (全規模・全産業) 「法人企業景気予測調査」8年1-3月期

- 7年度の設備投資計画は、製造業、非製造業とも増加見込みとなっている。

■ 企業収益 「7年度は増益見込みになっている」 (全規模) 「法人企業景気予測調査」8年1-3月期

- 7年度の経常利益は、製造業、非製造業とも増益見込みとなっている。

■ 企業の景況感 「現状判断は、「上昇」超幅が縮小」 (全規模・全産業) 「法人企業景気予測調査」8年1-3月期

- 先行きについては、「上昇」超で推移する見通しとなっている。

■ 住宅建設 「前年を下回っている」

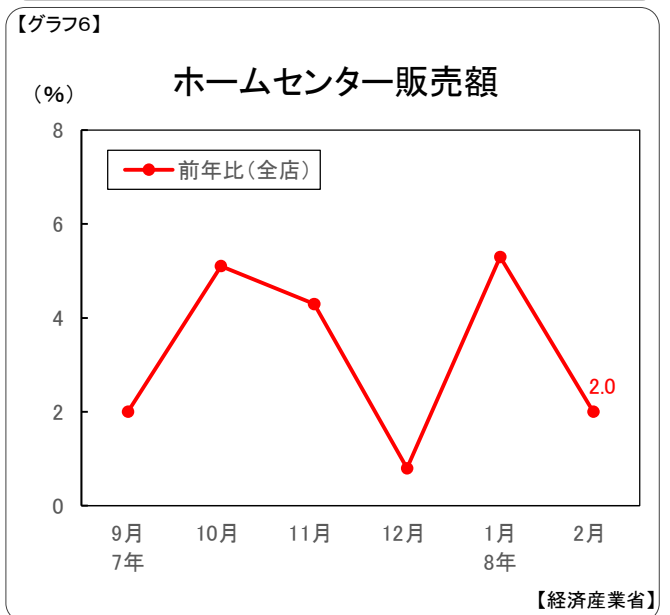
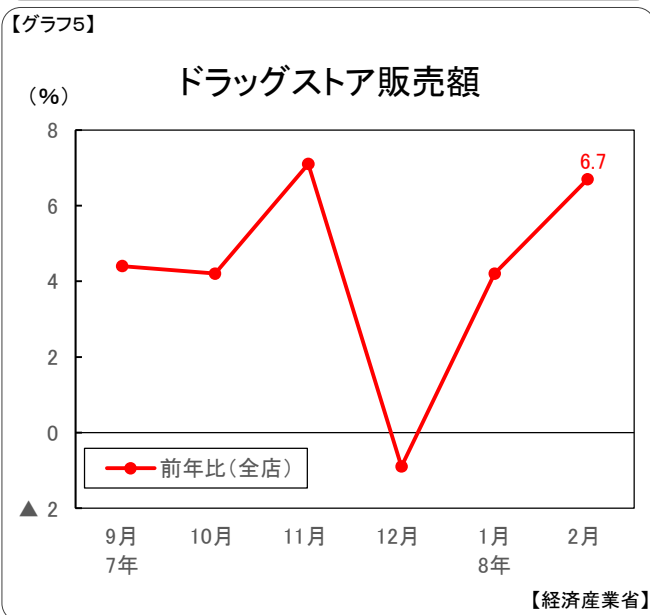
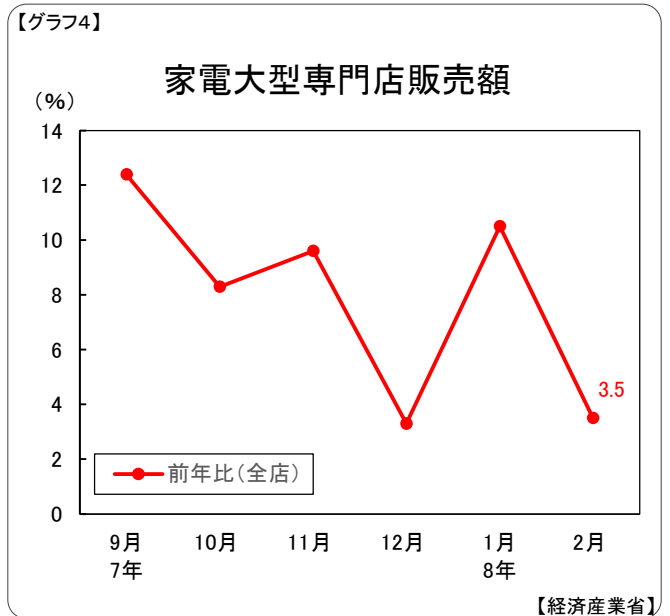
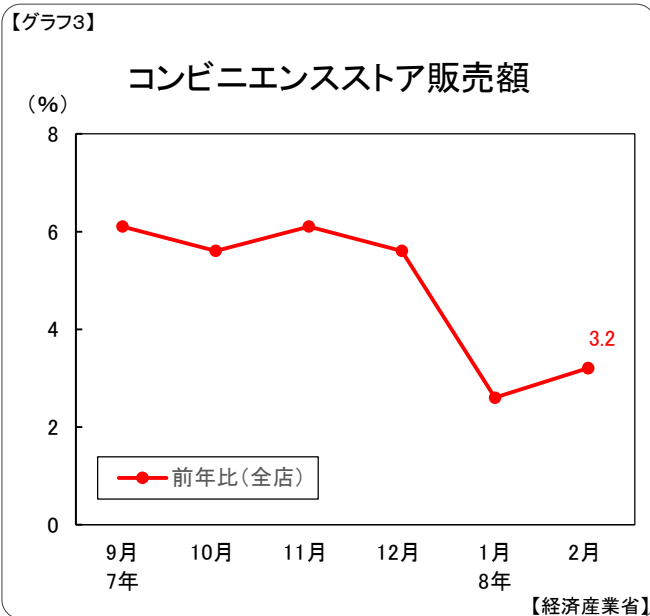
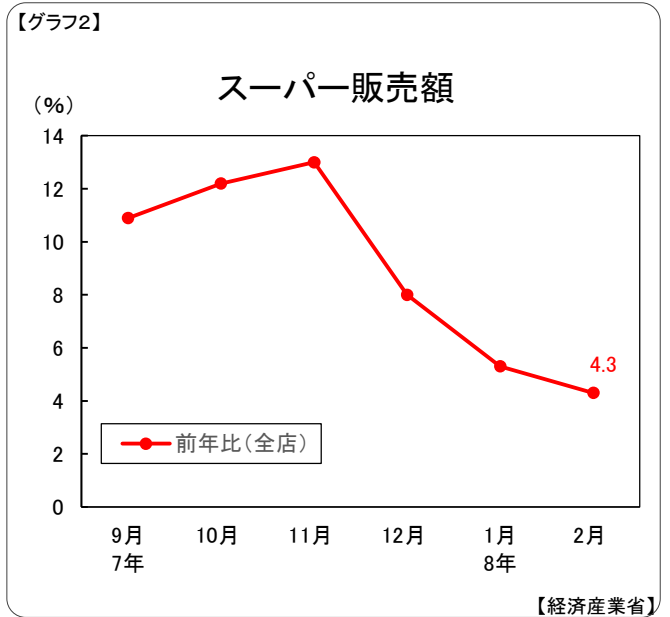
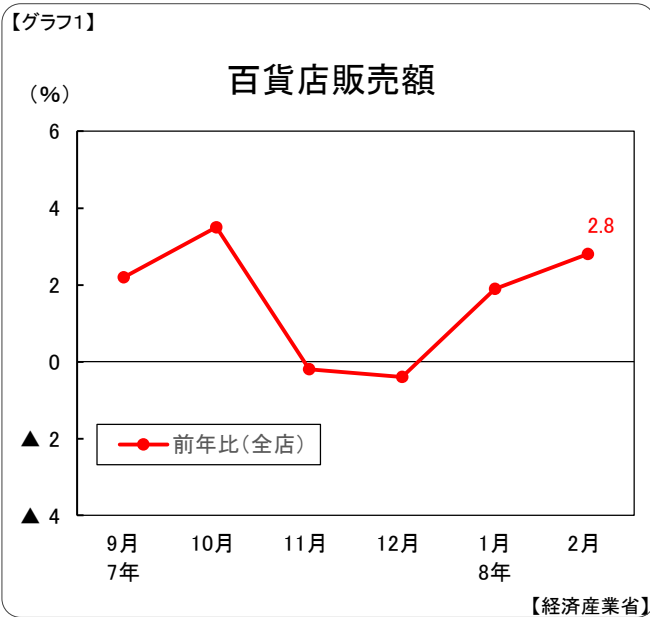
- 新設住宅着工戸数をみると、持家は前年を上回っているものの、貸家、分譲住宅は前年を下回っており、全体として前年を下回っている。

東京都の経済情勢報告

資料編

※掲載した経済指標等は、令和8年4月8日までに公表されたもので速報値を含む。

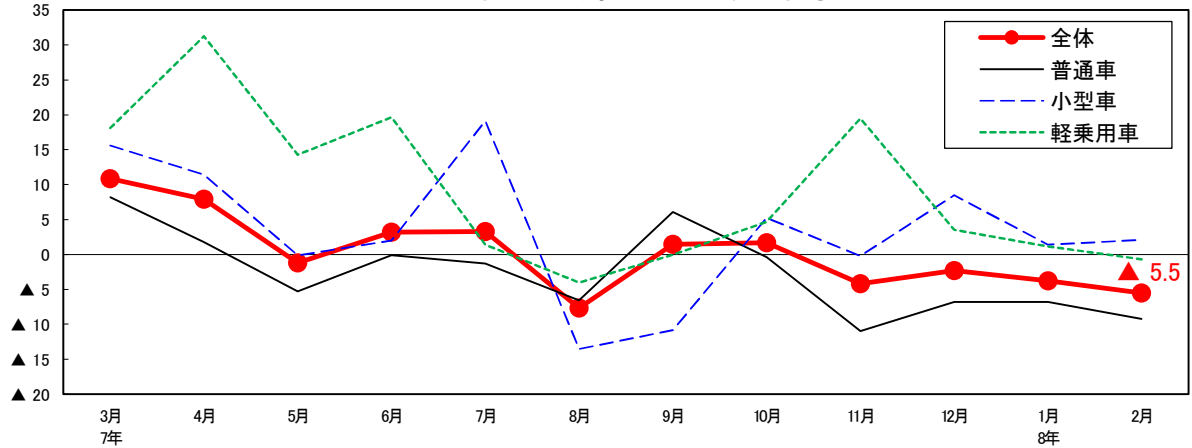
1. 個人消費



【グラフ7】

前年比(%)

乗用車新車登録届出台数(東京)



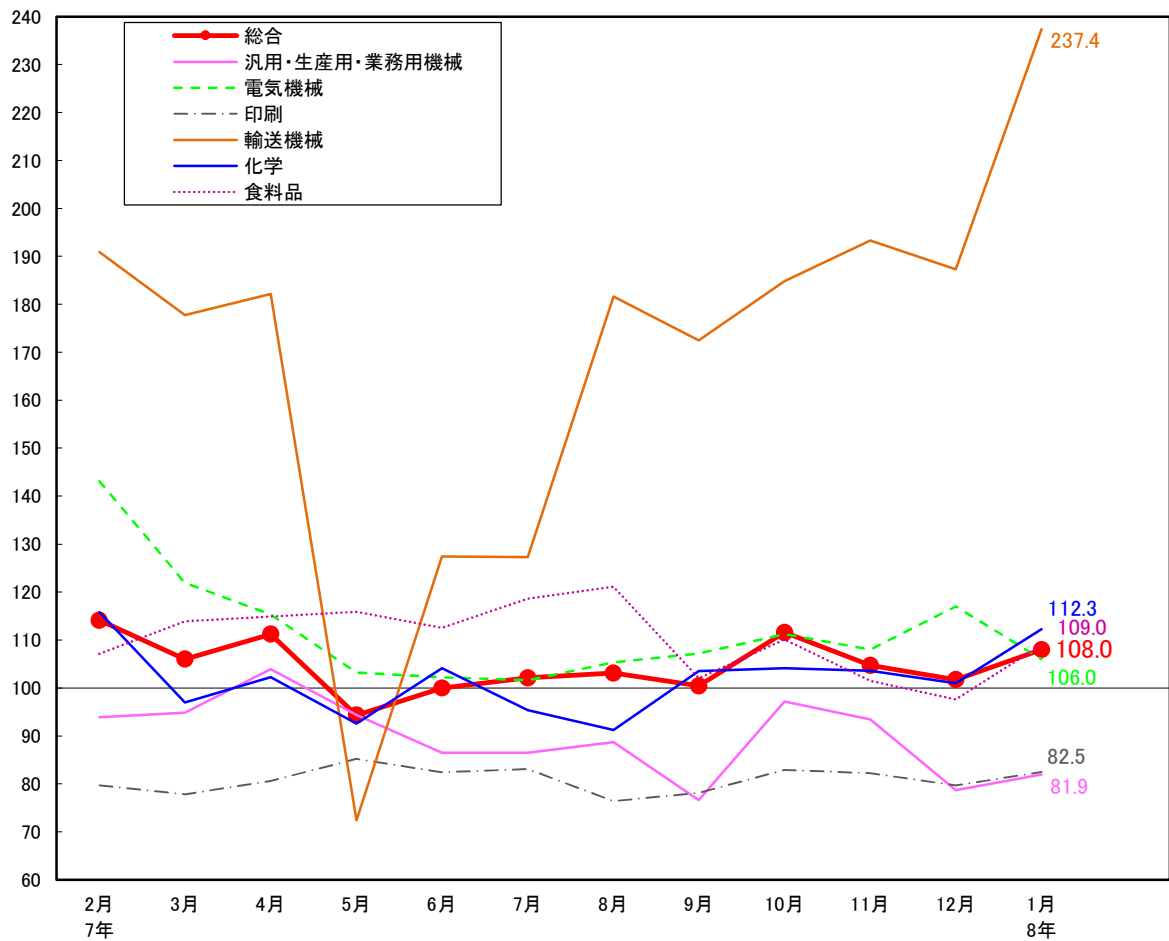
【日本自動車販売協会連合会、全国軽自動車協会連合会】

2. 産業活動

【グラフ8】

(指数) 令和2年=100

東京都 工業生産指数(季節調整値)

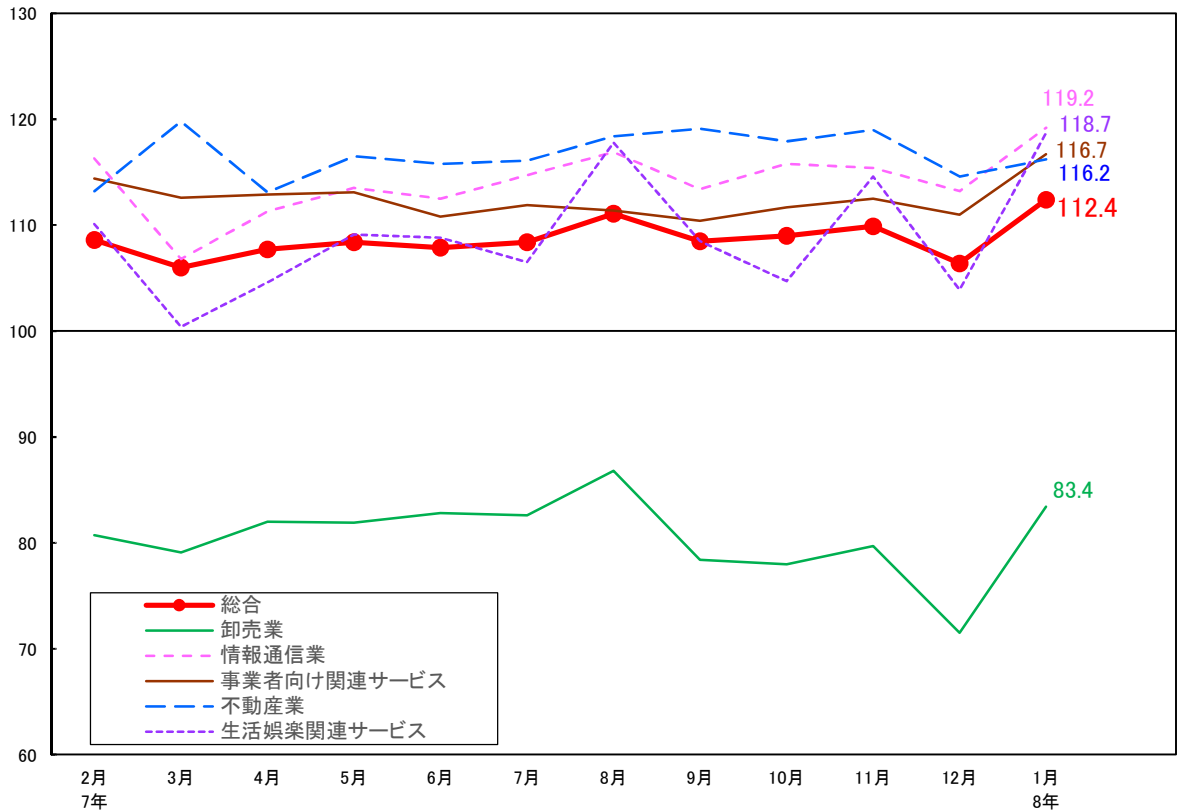


【東京都】

【グラフ9】

(指数)平成27年=100

東京都 第3次産業活動指数(季節調整値)

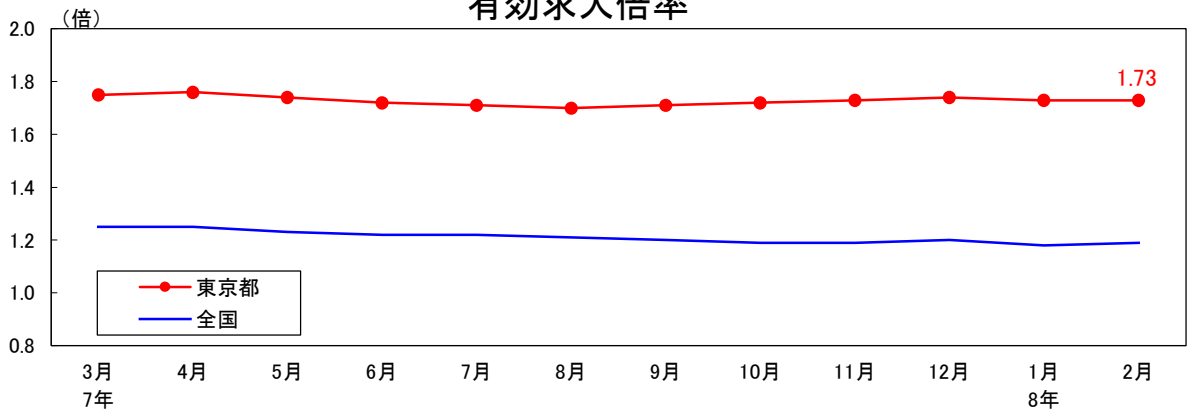


【東京都】

3. 雇用情勢

【グラフ10】

有効求人倍率



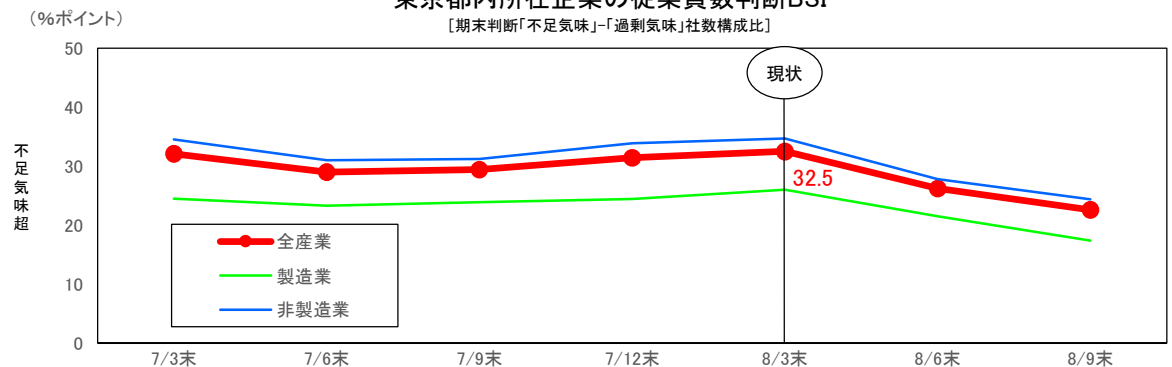
※季節調整値、パートを含む

【厚生労働省】

【グラフ11】

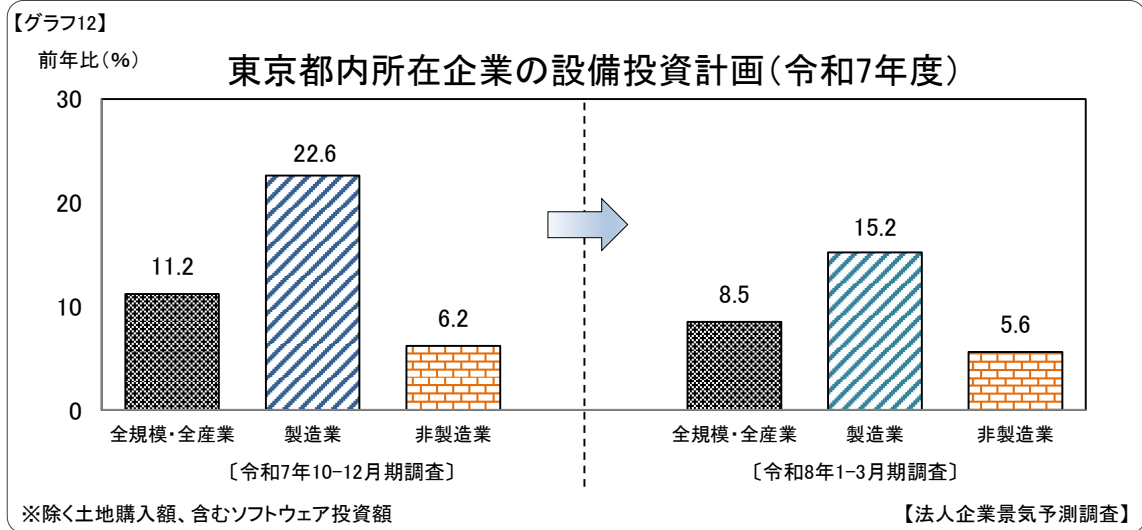
東京都内所在企業の従業員数判断BSI

[期末判断「不足気味」-「過剰気味」社数構成比]

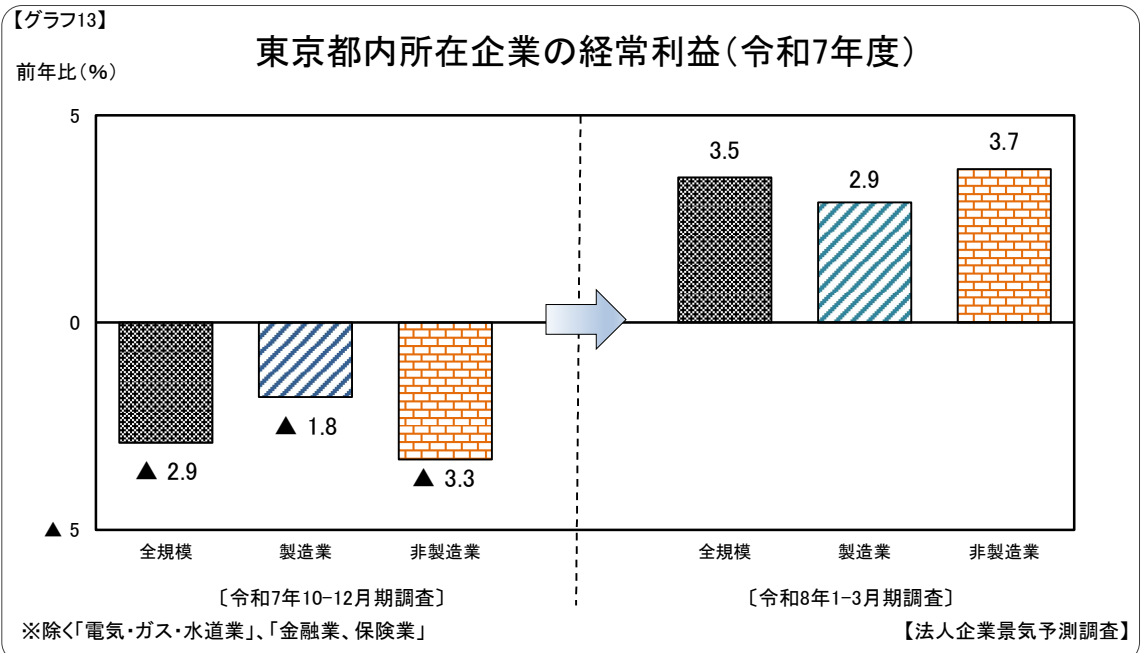


【法人企業景気予測調査】

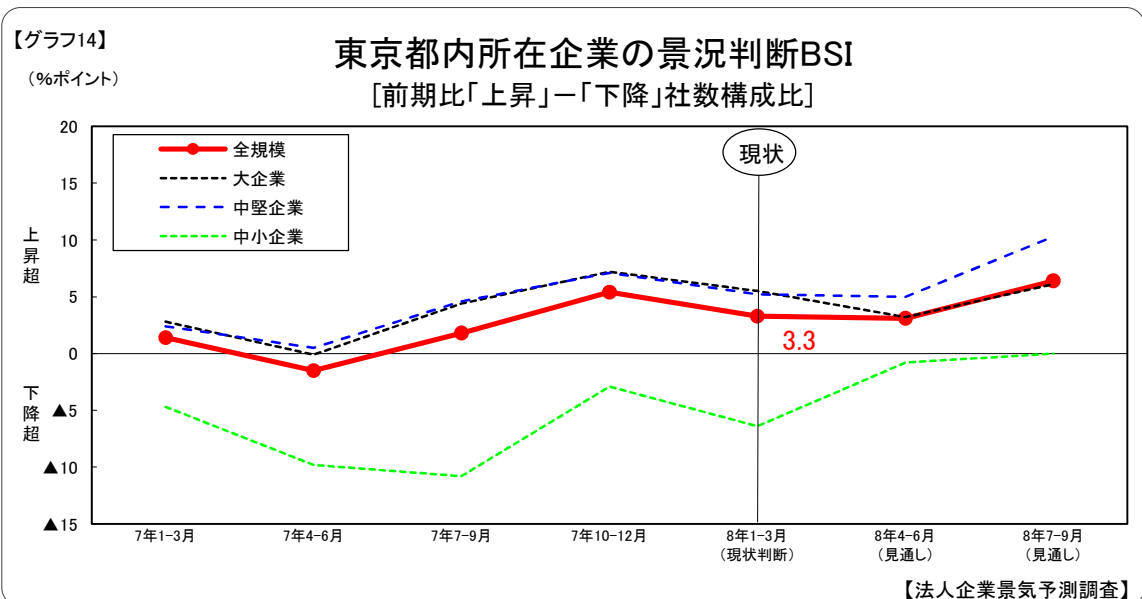
4. 設備投資



5. 企業収益

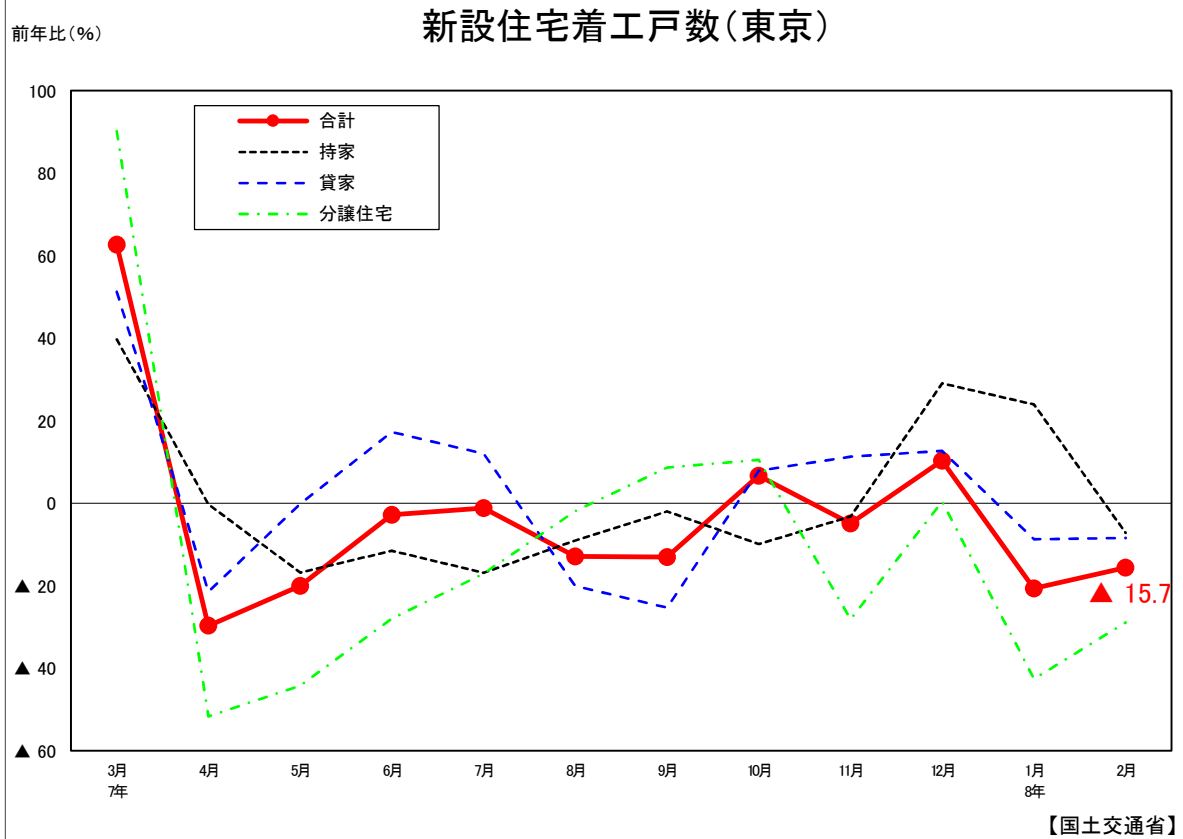


6. 景況感



7. 住宅建設

【グラフ15】



8. 公共事業

【グラフ16】

